

CubeSuite+ 78K0R/Ix3用シミュレータ V3.00.00 ご使用上のお願い

CubeSuite+ 78K0R/Ix3用シミュレータ V3.00.00の使用上の注意事項をご連絡します。

- タイマ・アレイ・ユニット1使用時のクロック選択に関する注意事項
- タイマ入力選択レジスタ0 (TIS0) の書き込みに関する注意事項
- A/Dコンバータ・モード・レジスタ (ADM) の書き込みに関する注意事項

1. 該当製品

CubeSuite+ 78K0R/Ix3用シミュレータ V3.00.00

バージョンの確認手順：

- (1) CubeSuite+を起動し、デバッグツールとしてリストからシミュレータを選択する。
- (2) ダウンロードボタンを押して、デバッグツールへ接続する。
- (3) メニュー「ヘルプ」から「バージョン情報」を選択して、バージョン情報ダイアログボックスを開く。
- (4) 「RL78,78K0Rシミュレータ用プラグイン」の「説明」欄にある「78K0R_Ix3 Simulator」のバージョンを確認ください。

2. 内容

2.1 タイマ・アレイ・ユニット1使用時のクロック選択に関する注意事項

本注意事項は78K0R/KF3-Lまたは78K0R/KG3-L使用時のみ該当します。

タイマ・アレイ・ユニット1を使用する場合、クロックをタイマ・クロック選択レジスタ1 (TPS1) によって選択できません。タイマ・クロック選択レジスタ0 (TPS0)によってタイマ・アレイ・ユニット0だけでなく、誤ってタイマ・アレイ・ユニット1のクロックも選択されます。本来、タイマ・クロック選択レジスタ1 (TPS1) によって選択されるのが

正しい動作です。

2.2 タイマ入力選択レジスタ0 (TIS0) の書き込みに関する注意事項

本注意事項は78K0R/KC3-Lの44ピン、48ピン、または78K0R/KD3-Lの52ピン使用時のみ該当します。

タイマ入力選択レジスタ0 (TIS0) へ書き込みを行っても、値が書き込まれません。このため、タイマ・アレイ・ユニット0の各チャンネルへタイマ入力としてサブシステム・クロックの4分周 ($f_{SUB}/4$) を入力させることができません。

2.3 A/Dコンバータ・モード・レジスタ (ADM) の書き込みに関する注意事項

本注意事項は78K0R/KC3-Lの48ピン使用時のみ該当します。

A/Dコンバータ・モード・レジスタ (ADM) へ書き込みを行っても、値が書き込まれません。このため、変換動作を許可できません。

3. 回避策

いずれも回避策はありません。

4. 恒久対策

これらの問題は、CubeSuite+ 78K0R/Lx3用シミュレータ V3.00.01 (CubeSuite+ V1.01.00に同梱) で修正予定です。

シミュレータ V3.00.01 は 2011年11月末リリース予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。